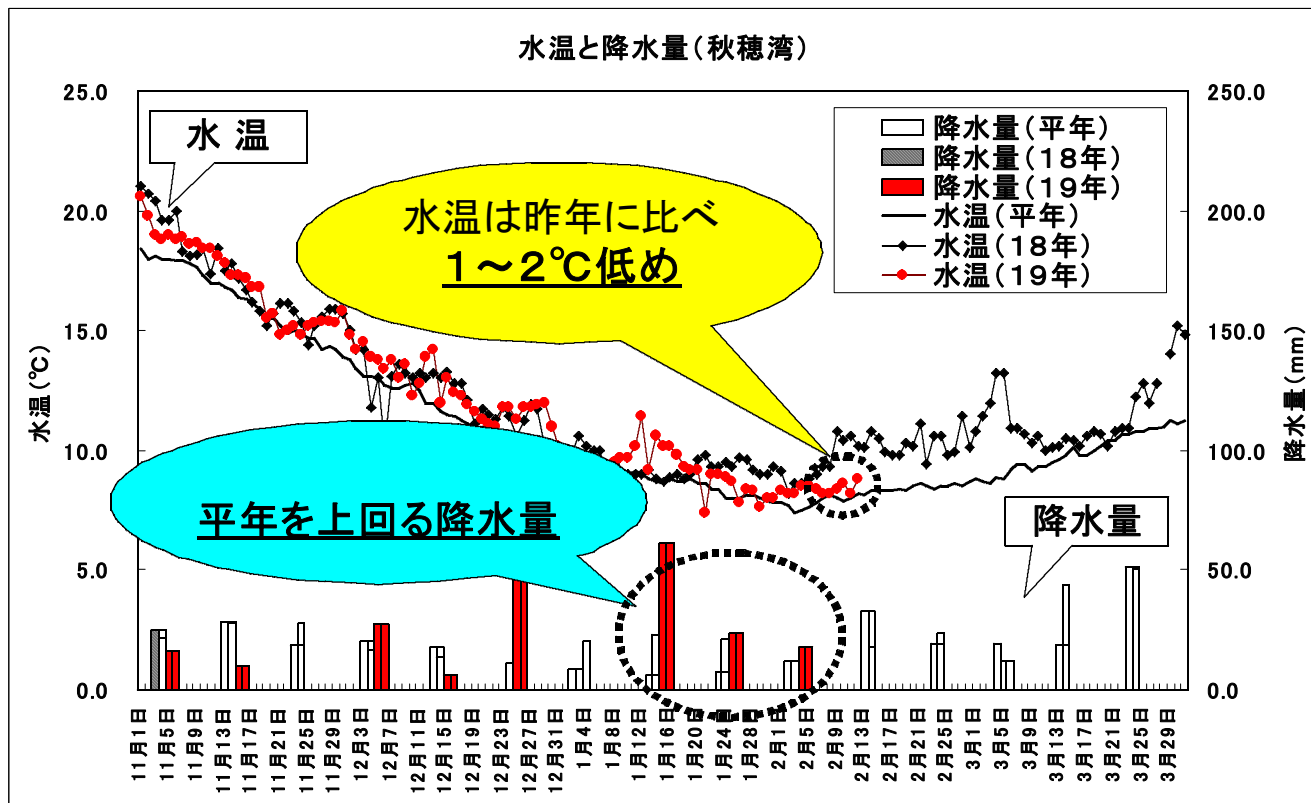


1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

1月中旬以降、水温は順調に低下しており、2月に入ってから**昨年より1~2℃低め**で推移しています。2月13日の秋穂湾の水温は7.7℃(昨年比-2.4℃)となっています。各漁場の2月12日の水温は下関地区8.0~8.2℃、宇部地区で5.0~6.2℃となっています。

1月中旬以降、散発的な降水が見られ、**平年を上回る降水量**となっています。



(2) 栄養塩

地区	DIN	PO ₄ -P
下関地区	平均64ガンマ(低58~高71ガンマ) 平年比101%、前年比56%	平均5ガンマ 平年比76%、前年比67%
宇部地区	平均20ガンマ(低17~高127ガンマ) 平年比38%、前年比52%	平均5ガンマ(低5~高6ガンマ) 平年比89%、前年比258%

※宇部地区では著しくかけ離れた測定値を平均値から除外してあります。宇部岬は欠測。

2 養殖状況

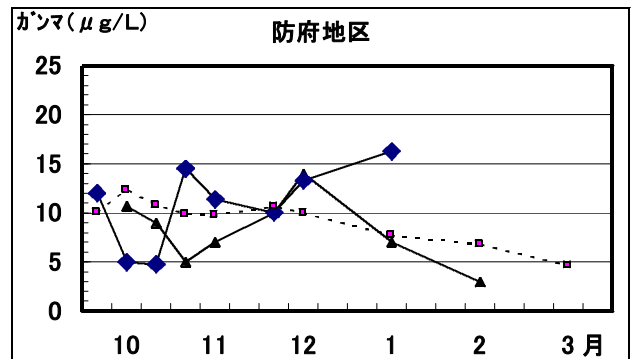
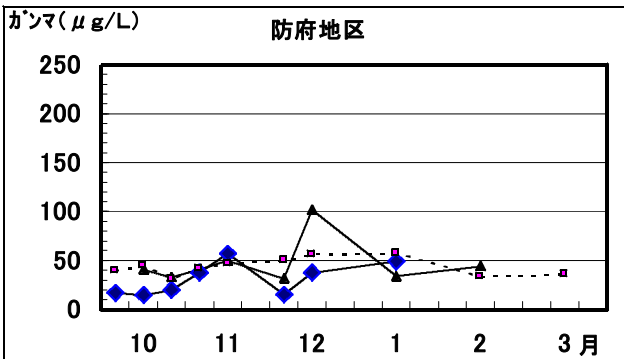
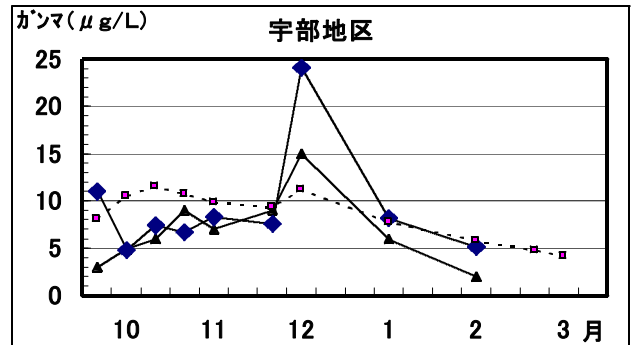
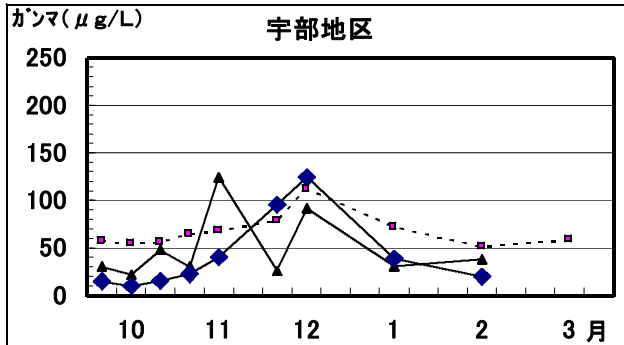
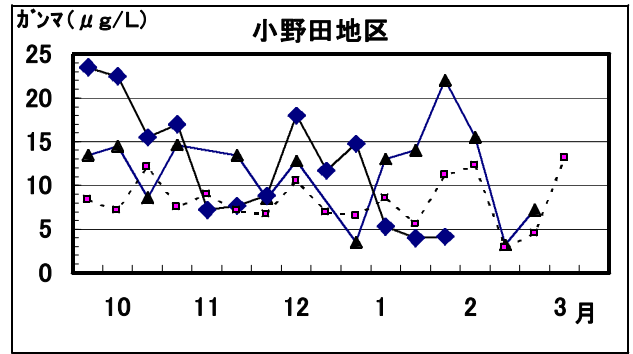
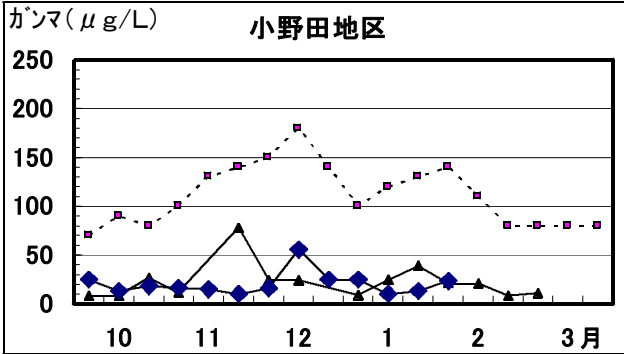
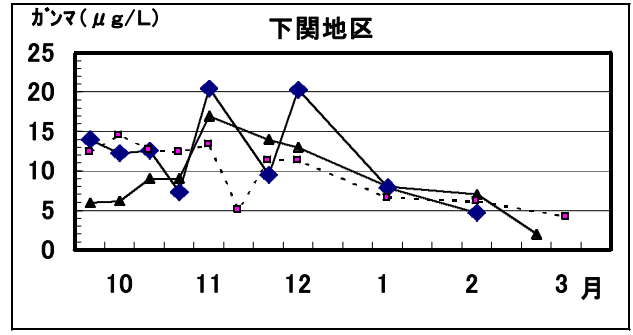
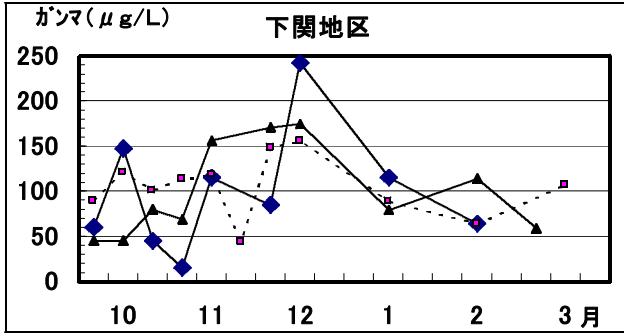
各地区で網上げが始まっています。葉体の伸長は鈍化傾向にあるものの、降水の影響で色調は保っている状況。依然として、珪藻(リクモホーラ)の付着は各地区で目立ちますが、色落ちの原因となる大型珪藻は発生していません。各地区の生産状況は次のとおり。

- 王喜地区： 一部を残し、生産終了。
- 小野田地区： 4~5回摘み。色はまだある。徐々に枠数を減らし、生ノリ主体で生産中。
- 厚狭地区： 2月いっぱいを目処に網上げを検討中。
- 高泊地区： 5回摘み。水温低下で伸びは鈍化するも、色はある。バラ干し中心に生産中。
- 藤曲地区： 5回摘み。伸び良好。一部色調低下も見られるが、全力摘採中。
- 宇部地区： 8~9回摘み。徐々に網上げが見られる。
- 防府地区： 一部を残し、生産終了。

栄養塩調査結果(2月12日)

(DIN)

(PO₄-P)



◆—19年度、▲—昨年度、■…10年平均

(※小野田地区分析:山陽小野田市環境調査センター)